

○私にも姉がいるが、あまり2人の思い出はありません。小さい時の写真をたまに見ますが、あまり2人で写っている写真がありません。今も一緒に家にいるにも関わらず、1日に一言しゃべるかしやべらないか、一言しゃべれば十分のこととはたくさんあります。3年前の姉が受験の時、推薦で落ちてしまったのを見て、姉よりも頑張って志望校に合格するというひそかな私のエンジンになっていました。姉も今大学受験前でストイックになっていますが、私も受験が終われば姉に少し感謝の気持ちでも伝えようと思います。

○私も1つ上の兄がいて、今ではケンカばかりだけど、昔は仲良かったことを思い出しました。今はお互い思春期だからちょっとした事でケンカになったりすることが多いけど、家族なので大切にしたいと思いました。母も父も毎日たくさん家事や仕事をしてくれて、支えてくれているので、いつもなかなか反抗ばかりしてしまっているけど、たまには感謝のこぼかけないかなと思いました。

○私は弟や妹の兄弟がいない。いなくても家族との関わりを大切にすることは出来ると思う。今、家で家族と進路に向けて話し合う時間は多くなっている。その時に自分の意見と家族の意見が対立することがあり、そのたびにケンカをしてしまう。でも進路実現のために家族は応援してくれているのだから、自分が応えられるようにしたい。家族がいることも大切だし、楽しく明るく生活できているのも家族がいるからだと思う、お母さん・お父さんが家族で良かったからそれを大切にしたい。

○身近な存在の大切さは忘れてしまうと書いてある所を見て、確かにそうだなと思いました。好きな曲に心を支えてもらったのに、少ししたら題目を忘れてしまうことがよくありました。それは人のこともそうだなと思いました。私はまだ小、中学校しかいってないので、大切さを覚えているけど、これから高校、大学、社会人になるにつれ、仲の良い人も変わり、忘れてしまうかもしれないと思いました。なので、関わる人との関係を良くして、良い思い出を作りたいです。

○私も妹と弟がいてすごく共感しました。6歳下の弟とはよくけんかをしてしまします。ケンカをしているときは顔も見たくないと思うときもあるけど、もし本当にそうになってしまったら、私はきっと何も手につかなくなってしまうと思う。身近な存在は自分では気づかなくても自分にとってはとても大切で大きな存在なんだなと思いました。

○この記事を読んで、私もいつも姉や妹とケンカをすることが多いが、家族は大切な存在であることを改めて感じました。私も昔の写真を見て、姉や妹がとてもかわいいなと思ったことが

高校 生

(三重県 16)

思い立って、母が5、6年前に使用していたスマートフォンを起動してみた。真っ先に写真フォルダーを開くと、小さい頃の弟の写真が大量に出てきた。見れば見るほど可愛すぎる。しょっちゅうけんかしていた記憶しかないが、もっと優しく接するべきだったと思う次第である。

数年後には、「今」の弟も可愛かったと思う時が来るのだろうか。考えれば居ても立ってもいられなくなり、弟との積極的な絡みを試みるが、なんせもう小学6年生で思春期

真っただ中。うっとうしがられるばかりである。昔のあのけないキュートさはどこかへ行ってしまったが、思ったようにならないネコのようで、そういうところがまた、可愛いと思ってしまうのかも知れない。

身近な存在の大切さは、個々人が多忙な生活を送る現代では忘れてしまいがちだが、その存在が、いつ「昔」のものになってしまいかかわらない。弟のみならず、家族との関わりを大切にしたいと思った。そして、弟の無駄に大きな笑い声を聞くたび、この人が家族で良かったと、温かな幸せをかみ締めるのである。

大声で笑う弟に幸せを感じる

あります。その写真を撮った当時は、今のようにけんかもたくさんしていて、かわいいなど思ってもいなかったけど、その頃がもう今は「昔」になって少し寂しさを感じます。だから私も今この時がすぐに「昔」へと変わってしまうから、家族や友達、大切な人との関わりを今よりもっと大切にしていきたいです。

○今も、いつのまにか過去となってしまう。過去から今の自分を振り返ってみて、損のないようにしたい。これから高校受験だけでなく、大学受験、就職などで、自分の進路が開けてくる。進路を終えてから後悔しないように、今を頑張りたいと思う。「今を大切に日々成長!!」

○私はこの記事を読んで、私は姉と兄がいて、年上なので写真でしか見たことがないけど、昔はかわいく、顔立ちが幼かったけど、成長していくにつれて大人っぽくなってきています。家では、姉が笑ったりしゃべってくれるおかげで、凄く明るくなります。私は家族は大切で、いつも支えてくれる人たちだと思います。一人一人が大切な役目を持っているから、一人も欠けたらだめだと思いました。

○僕はその気持ちがよく分かります。人は成長していった、だんだん変化していきます。昔はかわいかったのに、時間が過ぎていくうちに、うっとうしがられる。思春期になると、親を無視したり、にらんだりする。そうやって今の自分がある。段々かわいくなくなっても、優しく接し合い、家族との関わりを大切にしていけないといけないと思った。この家族で良かったと、そう思えるようになりたいと思います。

○前の道德の時間でもやったけど、家族は大切にしないといけないと思った。自分も弟がいるけど、よく考えれば前はもっとけんかをしていたような気がする。それも、仲良くなったというよりは、今の方が話す時間が減ったという意味だと思う。結局生まれてから死ぬまで、一番長く一緒にいるのは家族なのだから、けんかしてばかりではなくて、楽しく笑い合える存在でありたいと改めて思った。また、今までも自分が大変なときに、ずっと支えてきてもらっていたから、これからは家族が大変な思いをしているときに、その思いを分かち合って支えていけるような人間になりたい。

○私たちの学年でも「今を大切に」という事を紙に書いて貼っています。今しか感じられないことがあるし、後々「あのときああしていれば・・・」など、時には後悔もあると思います。今、身のまわりにいる大切な人と、いつ何が起きるか分からないので「今を大切に」という言葉は素晴らしいと思います。

○過去のことを「今」思い出して「今」後悔してしまうのであれば、過去の失敗を「思い出」として捉えれば良いと思う。僕はそうしている。過去のことを悔やんでも、特に変わることがないので、あまり考えず、未来へつなげる事が大事だと思う。

○後々後悔しても遅いと思うからしっかり今を大事にして身近な人と仲良く接したいと思う。むかついたり、ケンカしたことがあるかもしれないけれど、それも一種の「思い出」だと思う。悪い思い出、良い思い出、どちらにしても「昔」の事になると思う。大人になってふりかえったり、思い出す時に、一番悪い思い出、一番良い思い出で順位もつけず、全部楽しかった、この人と家族だからこそ出来たと胸を張っているようになりたい。今は一緒に居れるのが当たり前になっているけど、いつかその当たり前だった人が急にいなくなるかもしれないし、と思う時がある。だから少しの時間でも家族、友達、後輩、先輩たちと仲良くしたいと思った。

○たしかに大切な人の存在は、身近にありすぎるとその重要さに案外気づかないものかもしれないと思った。家族という自分と血がつながっていて、自分の味方ともいえる人たちのありがたさが当たり前のものだと思っているときもあると思う。この人の言うとおりの、「今」がいつか“過去”に変わってしまうのは避けられないことだけど、それを心に留めておき、家族だけでなく友達と過ごす時間すべてを大切にかみしめたいと思った。

